

広島県中小企業団体中央会 2017年1月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

1月の出荷量は前月比45.0%減少、前年同月比9.7%増加、売上高は前月比42.0%減少、前年同月比6.4%増加となった。

広島食品工業団地協同組合

廃業により、12月に1社脱退した。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

忙しい状態が続いてはいるが、今後は少し余裕がでる見込みである。依然として先行き不透明感は続いている。

広島県木材協同組合連合会

平成28年12月の全国の住宅着工戸数は78,406戸で、前年同月比3.9%増加、また、季節調整済年率換算値では92.3万戸（前月比3.2%減少）となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で6ヶ月連続の増加となった全国の動きに対し、広島県内の12月の着工戸数は1,560戸で前年同月比4.9%減少、このうち、持家は476戸で前年同月比17.5%の増加、貸家は739戸で前年比17.2%減少、分譲は345戸で前年比0.6%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、昨年の消費税増税延期後の低金利の追い風による堅調な動きから減少に転じ、地域別では広島市が着工戸数805戸で8.4%減少、福山市が261戸で13.9%減少、呉市が62戸で18.4%減少となった一方で、東広島市は152戸で50.5%増加、廿日市市は105戸で22.1%増加と地域間でばらつきが見られ、また、ピークを過ぎたプレカット部門の先行き不安や、一般製材部門など、会員、業態によって売上や収益等に偏りがある聞き取り結果となっており、全国の動向と共に県内業界の今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

トランプ政権の施策、英国のEU離脱など保護主義の流れの下で、企業のグローバル投資、売上規模の拡大は慎重に進めざるを得ない。

国内の景況感は、先月と変わらず、今は忙しいが先の見通しが立てにくい状況である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社横ばい傾向にある。

先行きは、原油市況の値上がり傾向を背景として、樹脂の値上げが聞こえてくる。海外の樹脂市況の動きも心配しており、今後さらなる値上げを危惧している。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年1月 2,565m³ (対前年1.91%増加)

28年12月 3,338m³

28年1月 2,517m³

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

大口の受注案件が少なかったため、前月比5%増加、前年同月比10%減少となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区のコンプレッサー関係、製鉄関係及びタイヤ機械は低操業で、江波地区の航空機関係は通常操業である。それに伴い協力会社各社の操業もそれぞれの機種に沿った操業状況にある。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、年始の休日で、稼働日数が少なかったため、前月比3%増加、前年同月比共に変化なしとなった。国内外で受注が好調である。

昨年最低賃金が20円も上昇し、経営を圧迫している。取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。また、残業規制が厳しくなれば大いに経営を圧迫する。そのような中、配偶者控除が150万円になれば、配偶者控除内で働こうと労働時間を調整しているパートタイマーが、今より長時間就労することで、人手不足の解消に繋がるのではないかと期待している。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

1月の国内自動車販売台数は全需が402千台、前年同月比4.9%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比8.6%増加と6ヶ月連続の前年超え、軽自動車は1.1%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車は19.2%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの12月の全需は1,690千台で前年同月比2.9%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同1.8%減少と5ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の12月の全需は1,405千台で、前年同月比0.7%減少と5ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車は同0.5%減少と5ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の12月の全需は3,117千台で、前年同月比11.9%増加。マツダ車は同42.0%増加と7ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の12月の海外販売合計台数は126千台、前年同月比4.1%増加と9ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの12月の輸出動向については、輸出台数は前年比2.5%減少と3ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの12月の国内生産台数は、前年同月比1.5%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年1月の船舶建造許可実績は1隻6,600総トン（前月3隻76,399総トン、前年同月6隻270,550総トン）であった。なお、この1隻は貨物船で国内船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により、収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

特に変化はない。12月の流れとほぼ同じ状況である。2月から3月初めがデスク販売のピークとなる。全体の底上げになるよう販売に期待しているところである。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

近年は米国大統領の発言に右往左往しており、先行きは不透明な情勢である。円高が見込まれており、輸出業者はやや苦戦している。百貨店販売は依然低迷しており、個人消費も伸び悩みが継続している。地区内に大型ショッピングセンターが建設され、パートの流出懸念がある。

「資材関連」においては、公共投資は増加するも住宅着工戸数は減少している。

「食品」においては、漁不良により、水産物価格が上昇している。

「繊維」においては、商品デフレに変化はなく、取り巻く環境は厳しい。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、中国からの受注回復によりやや増加している。しかし、商品価格の下落は続いており、デフレ気味である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

全体の景況感はやや悪い中、広島県の11月の住宅着工は前年比22.3%増加と引き続き好調である。低金利の影響や、相続税対策により、貸家の着工が大幅に増加している。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産い草の主産地熊本では、新年に入り、畳表の需要は弱含みで、入用買い程度の状況である。他地域においても、同じく需要は弱含みで、注文分のみ入用買い程度の状況で推移している。中旬頃より製織に少し勢いが出るとみている。

一方、中国産の畳表でも低操業で、20日頃より春節のため1ヶ月程度の休みとなる。早い工場では、既に製織を止めている工場もあり、消費が上向き、需要に活気ができれば稼働も早まるとみている。

全般的に弱含みで推移している。本格的に活気が出るのは3月頃であると思われる。

小売業

●各種商品小売業

チェーンリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

1月の売上も、前月比、前年同月比共減少した。組合員の減少と外部得意先の売上減少が主な要因である。今回の売上減少は、準社員の退職により、積極的な販売活動が出来なかったことが要因である。この状況は3月まで続くことが予想される。

店舗でも、同様の問題を抱えており、社員が退職しても、売上が減少しているため、人員の補充が難しく、商品管理が十分行き届かず徐々に客数が減少し、売上が減少していくという悪循環に陥っている。

協同組合三次ショッピングセンター

競合店の進出以降、売上、客数の減少が続いている。1月は特に週末の積雪が続き、来店客

数が減少した。現時点で上向き可能性は見えてこない。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

1月度の販売実績は前年同月比4.7%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比7.2%減少、BDレコーダー同4.0%減少、音響・車載機器同9.4%減少、冷蔵庫同8.1%減少、洗濯機同5.9%増加、エアコン同2.6%減少、エコキュート同1.4%増加、IHクッキングヒーター同1.8%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

寒さが厳しいこともあって、通行人の数は12月に比べ減少しており、来店客数も全般的に減少している。2月もこの状況は続くと思われる。

店舗に関して、後継者不在により閉店した時計店が1月末で脱退。中通にある郵便局が当商店街へ移転することが決定し、2月着工、6月開店の予定である。

広島金座街商店街振興組合

暖冬及びイオンモールの増床、廿日市ゆめタウンの影響で、前年より売上は落ち込み傾向にある。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比6.2%減少、前年同月比3.1%増加。車検場収入は前月比5.6%減少、前年同月比2.9%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比9.7%増加、前年比7.0%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型ショッピングセンター（商工センター）オープン前のため、職人の動きはあるものの、売上増を確実に感じられる程度ではない。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

売上について、3品目単月で前月比47.6%増加、前年比45.9%増加となり、昨年9月からの前月、前年比の減少に歯止めがかかり、ようやく一息ついた感がある。前年度累計比も0.2%減少までに回復した。1月は大型マンションの工事需要が目立った。2月、3月の最盛期に大きく期待している。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比177.7%増加、前年同月比160.7%増加となった。4月から、太陽光発電買取価格が3円/kWh下がることが決定した。国の方針で、1月末までの申請のみ受付する旨の通達により駆け込み申請があり、一時的に工事件数が増加した。2月からの反動減が気掛かりである。

神辺建設業協同組合

公共事業の発注は、年度予算の関係で短い工期の工事や維持管理メンテナンスを中心とした案件が多く、年度をまたいだ主力工事が少ないため、中小企業各社は民間需要の案件にシフトしていると見られる。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格は落ち着きはじめています。荷動きは前年同月と比べやや低調である。

広島県ロジネット協同組合

1月の荷動きについて、例年12月の反動で急激な減少が見られることが多いが、今年は1ヶ月を通して安定した堅調な動きとなったようである。昨年より1割近く貨物量は増えたようである。来月以降も2、3月の決算月に向けてさらに荷動きは活発になると予想している。一方、軽油価格は12月の値上げの影響から3円/L程度の値上げとなった。実質1月だけみれば、マイナス1円/L程度で推移したようで、少し落ち着いた感はある。2月の値下げに期待したい。

松永地区トラック事業協同組合

1月は、売上、収益ともに前月比減少、前年同月比変化なしとなった。

年末の駆け込み需要から平常に戻った感じである。土木関連の輸送は、年度末に向けて増加傾向にある。繊維関係は、冬物から春物への入れ替わりの時期で1月下旬から出荷が始まっている。それ以外の業種は特に大きな変化はない。

ドライバー不足の状況は改善の兆しすらなく、かろうじて採用できても縁故又は知人の紹介で、まだまだ人員不足の状態である。今後は、労働時間の縮減等に取り組むことで、働きやすい職場環境の整備をしていかなければ、益々人手不足が深刻化してくることが予想される。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比については、12月に入金があった公的評価報酬が今月はないため、売上高、収益状況共に悪化している。資金繰りに変化はない。前年同月比については、特に変化はない。

不動産の地価については、都心回帰の影響で、平地の利便性の高い地域の地価は、上昇傾向にあるが、利便性の劣る山の手の住宅団地は依然として下落傾向にある。